

## ザンビア国の開発ニーズ

- 脆弱な道路インフラと、それに起因する物資供給チェーンの制約が深刻な課題となっている
- 医薬品・医療機器等の運搬にも大きな支障が生じており、住民への基礎的保健医療サービスの質の低下を招いている

## 普及促進事業の内容

### 【現地活動】

- ドローンの運用と空域管理に関するセミナーの実施
- 喀痰、乾燥血液等を想定した疑似検体を運搬するデモ航行の実施
- ドローン運用のための電力・通信インフラ整備の技術的検討

### 【本邦受入活動】

- ドローンの運用、法制度検討、医療サービスに係るセミナーの実施
- ドローンの実証活動現場の視察

## 提案企業の技術・製品



### 自律型無人航空機「VTOL」

飛行経路設定、飛行中の制御を自動化し、簡易かつ安全な航行が可能。長時間・長距離航行性、高い運用性を兼ね備える

### 事業のポイント

- 既存道路インフラの条件に依らず展開可能な技術の革新性と現地適合性
- 公共サービスが届きにくい遠隔地・僻地への展開及び農業・建設・環境管理分野での活用も含めた将来的普及ポテンシャルの高さ

## ザンビア国側に期待される成果

- ドローンを用いた次世代物流手段により、物流の制約がある地域で迅速かつ安定的な物資供給を実現
- 医薬品・医療機器の迅速な輸送により、930万人を超える農村地域住民が享受する基礎的保健医療サービスの質の向上に寄与

## 日本企業側に期待される成果

### 現状

- 日本国内ではドローンによる物流ビジネスの実績があるものの、海外でのビジネス実績がない状況

### 今後

- ザンビアにおいて物流手段としてのドローン事業モデル及び現地企業と連携したビジネス展開体制を確立
- 将来的にはザンビア国内全域への水平展開と、周辺国を含めたアフリカでのビジネス展開を図る